

管内月間火山概況（平成 27 年 4 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（4月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	吾妻山
	火口周辺危険	蔵王山
噴火予報	レベル1（平常）	秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山
	平常	恐山、岩木山、八甲田山、十和田、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。
蔵王山では13日に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しました。
その他の警報事項に変更はありません。

岩木山 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
岩木山は活火山であることに留意してください。

八甲田山 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
八甲田山は活火山であることに留意してください。

秋田焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
秋田焼山は活火山であることに留意してください。

岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

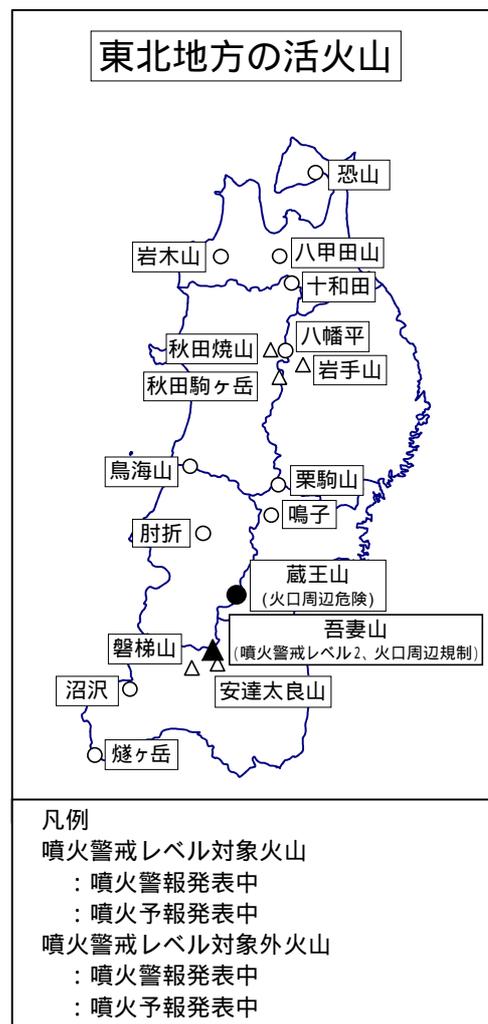
火山活動は静穏に経過しました。火山性地震が一時的に増加することもあります。その他の火山活動に変化はなく、噴火の兆候は認められません。
岩手山は活火山であることに留意してください。

秋田駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

女岳では、2009年から拡大している地熱域が引き続き見られます。
地震活動は低調で、地殻変動及び噴気活動にも大きな変化はみられませんが、地熱活動が続いていますので今後の火山活動の推移に注意が必要です。
秋田駒ヶ岳は活火山であることに留意してください。

鳥海山 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



鳥海山は活火山であることに留意してください。

栗駒山 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山は活火山であることに留意してください。

蔵王山 [火口周辺警報（火口周辺危険）] 13 日に噴火予報（平常）から火口周辺警報（火口周辺危険）に引き上げ

7 日以降、御釜付近が震源と推定される火山性地震が増加し火山活動が活発な状況となりました。

小規模な噴火が発生する可能性があるかと判断し、13 日に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しました。その後警報事項に変更はありません。

想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね 1.2km の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

吾妻山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いています。

大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大穴火口周辺（火口から概ね 500m の範囲）では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

安達太良山は活火山であることに留意してください。

磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山は活火山であることに留意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

次回の管内月間火山概況（平成27年 5 月分）は平成27年 6 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び青森県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。